

公德心を高め 美しい明るい社会に

館長 藤本 秀雄

先日「由良の川と海を美しくする会」の役員会が催されて、当面する夏の環境衛生を中心として、由良を美しくする問題が協議されました。その一部は自治会だよりで回覧されましたので御承知と存じます。浜や公園等にごみ入れを増設したり、ごみ集めの回数をもくするようにならしていただくことも、確かに地区を美しくする一つの方法であります。しかしほんとうに由良地区を美しく住みよくなるためには、これだけではないでしょうか。

海岸のみならず石浜から奈良に至る国道沿いにも随分多くの空きかんやビニール袋等が捨てられています。沿線の田畑では、農作業の邪魔にもなっています。この空きかん類は由良地区以外の主として自動車から投げ捨てたものでありまして、日本人の公德心、社会道徳心のないのが原因だと思えます。しかし由良の人も他地区へ出かけた際に、これと同じことをしてはいけません。反省すべきです。ごみを平気で捨てるのは他人のことを考えない自分さえよければよいという人です。我々人間は一人では生きていけません。お互いに助け合って生活しているのです。自分たちで作っている社会です。各人の責任で美しい住みよい社会にすべきです。もっと他人のこ

とき考えて、人に迷惑をかけない、公共物を大切にす、更にみんな気持ちよく生活できる社会を築くこと考えるべきです。美しい環境づくりは一人一人の心がけを待つ以外に不可能です。おなじ地区内は勿論のこと、どこへ行っても人に迷惑をかけないで自分のごみは自分で始末する、という原点に立って、美しい環境づくりを努力しようではありませんか。

報告(一)

主事 平間 克己

昭和五十七年度

運営審議会委員(順序不同敬称略)

- 自治連合会長 岸田 幸吉
- 浜野自治会長 坂下 寛次郎
- 船自治会長 中西 孫兵衛
- 宮本自治会長 市会議員
- 港自治会長 酒木 光夫
- 下石浜自治会長 岸田 勇
- 上石浜自治会長 山下 良作
- 市会議員 四方 寿朗
- 前公民館長 角尾 好美
- 小学校長 中西 一
- 小学校教育支会長 山下 節子
- 婦人会長

- 山下 伊東 老友会長
- 岸田 明 子供会連絡協議会長
- 小室 文雄 社会体育指導員

本年度の事業

一、公民館

(1)成人式 一月十五日

(2)成人の確認 連絡 当日の世話

(3)新生活運動

府市教委の指導に基づく活動

あいさつ標語のステッカー作り、講演会

二、文化部

(1)公民館だより 年三回(六月)(十月)(三月)

(2)座談会 年一回

テーマ「由良を良くするため」

(3)盆踊り 八月二十三日(玉蘭盆)

(4)史跡めぐり 午後八時より午後十時まで

(5)文化部 八月二十九日(日)

綾部梅迫方面 公民館関係者の研修

(6)文化祭 十一月十五日頃

作品展(生花)(書道)(写真)その他、参加行事

(7)四部対抗囲碁大会 二月六日(日)

(8)図書購入と貸出 毎日貸出し

但し午後と日曜休館

(9)郷土史の研究と推進 毎月十日

(10)講演会 年一回

▽文化部員(敬称略)

- 部長 坂本 同 副部長 小松 賢輔
- 部員 矢野 善記 奥野 彰 小松 二郎
- 中西 房雄 中西 信好 石角 正弘
- 小室 仲次 榎田 九兵衛 山下 良一
- 山下 節子 宮本 ユリ子

三、体育部

(1)由良岳登山 四月二十九日

(2)午前九時出発、午後二時下山

(3)ソフトボール大会 六月六日(さのぼり)

団体対抗(公民館)育友会、消防団、実業会

(4)球技大会 八月十五日(雨天中止)

四部対抗 野球、ソフトボール

(5)バレーボール大会(四部対抗男女)二月六日

スポーツサークル

剣道(火金) 卓球(月) バドミントン(水土)

バレーボール(木日) 少年野球(土日)

老人スポーツ(月一回以上)ゲイトボール

▽体育部員

- 部長 大森 章弘 副部長 岸田 剛
- 部員 石田 正敏 森本 松二 中西 隆光
- 田中 昭義 中西 英貴 山田 良明
- 岸田 秀樹 藤本 喜美子 榎田 輝子
- 兼剣道講師 小室 文雄 北野 薫 瀬戸野 吉也

注)運動会の開催については暫定的に隔年とする

昭和五十九年度以後の運動会については、アンケートの集計を見て、昭和五十九年度の運営審議会にて決めるものとする

昭和五十七年度 由良運営審議会

報告 (一)

四月二十九日

一、由良岳登山 今年由良岳登山の出発は規律正しく、午前九時に小学校庭に集合し、準備体操をして、一斉に登る事にした。小学生が元気よく、ぐんぐんと先頭を切って登って行く。低年齢の子供はお母さんに励まされながら登って行く。老年層は、自らの体力を試し、一休みしながら登っていく。それれが年代にあつた体力で、六四のメートルに挑戦して行く。又三年前から参加している宮津組も新人を誘い、それに宮津市役所の塩見観光議長も参加された。更に如意寺の和尚さんも三人の信者と虚空蔵菩薩にお経をあげて、登山の安全を祈念された。

由良岳登山も昭和四十一年五月三日以来、十七回目になり、四方寿朗先生は初回から一回も休まず、連続して十七回目の登山で感服した。それに今回の十七年間続いた後には毎回の登山の前日迄に、由良民宿組合の会員が自発的に頂上迄の登り道と頂上広場の清掃と代探等引き受けて、奉仕して頂いている事を忘れてはならないと思ひます。この専ら奉仕がなければ、難儀しなから登らなければなりません。厚く感謝の意を表したいと思ひます。

尚今年の登山総数は、二四三名で去年より一〇名増でした。

二、オ二回団体対抗ソフトボール大会 六月六日

オ一回戦	九	〇
育友会	九	〇
公民館	十	三
三位決定戦		
消防団	九	一
実業会	四	一
優勝戦		
公民館	四	一
育友会	四	一

この大会は「公民館は「さのほり行事」として、午前中は清掃、消防団の放水作業、育友会の廃品回収等、夕方のため予定時間を遅らせて開会した。戦が展開され、和気藹藹の中で明るいムードで試合が続き、楽しい一日であった。

婦人会活動について

日々の新聞やテレビで報道される事柄の中で主婦として特に感じますことは、退廃文化の氾濫、家庭の崩壊、青少年の非行の増加等の憂うべき事象です。私達主婦もよほどしつかりしなければならぬと感じます。私達の社会の中で最も重要な基本的な単位は家族であり、家族が寄り集まって地域社会となり、地域社会の集合体が国家であると思ひます。先づ家庭を立派に治め、子供を健康で心豊かな人間

私のゲートボール観

矢野 若蔵

私達は健康で幸福で長寿したいと念願することは誰れでも同じだと思ひます。然し現実はその願いの通りは簡単には出来ないのである。だが出来ないと考へてその念願を達成する努力をしないことは、自身を不幸に導くだけだと思ひます。人間は高齢になるに従い必然的に老化して来ることは宿命でしょう。だがその宿命を克服してより永く健康で幸福で長寿する方途を探求し自らに適した道を選びその道を歩む。老後の生き涯を追求して行くことが賢明だと考へます。その選ぶべき道は種々あると思ひます。私は近年老人クラブで奨励されて全国的に盛んに進められているゲートボールを推挙したいと提唱します。人間の健康は栄養と休息と運動の三大要素をバランスよく実行することだと言われたいです。然しその中、運動は高齢になるに従い免角等閉鎖される傾向があるやうですが、頭脳も身体も適度に運動し使わなければ必然的に退化して老化を速めていく。だから積極的に頭脳と身体を適度に運動させることに努力することが必要でしょう。

に育て上げるのか私達主婦の勤めであらうと考へます。明るく、楽しい家庭を築くためには、オ一に健康管理、次に話し合える雰囲気を作り出すことではないでしょうか。近所の噂話しか出来ない主婦、過保護で子供の躰の全くできない主婦、自分の子供のことしか考へない教育ママ等、批判的な言葉をよく耳にします。か、このようなことでは家庭を治めるところが、家族の対話にも欠け、子供は利己的で社会性の低い人間に育ち、家族の崩壊にもつながりかねません。私達はお互いに研鑽し合つて教養を積み、視野の広い寛大な人間になりたいものです。又、私達は、地域社会の中で生活を営んでおります。地域社会との関連において物事を考へなければならぬと思ひます。子供と退廃文化から守り、健全に育てる手だても必要です。豊かな暮らしが出来ると喜ぶの合理化運動、消費生活運動の推進も必要であります。更に同和教育や婦人の地位向上運動にも参加しなければなりません。私達婦人の個人個人の力は弱いものですが、組織となると強力なものになります。一人でも多くの人が手をとり合つて、この組織を守り育て、より強力なものへと発展させて行かぬはならぬと思ひます。今年度、私達婦人会は今一度原点に立ちかえつてみて、よく考へ、ひとりひとりのふれあいを大切にしたいと思ひます。住みよくなるさと作りに努力したいと思ひます。府婦連目標、見直そう明日の暮らしを築くために、市婦連目標、豊かな心で住みよき地域社会を婦人の手で。

ゲートボールは勿論勝負を争う競技ですが、親睦や交流も兼ねて深め楽しく明るく知らず知らずの間に健康に寄与することも大きな目標であります。それでゲートボールの効用を御紹介しましょう。①精神集中力を使い脳細胞を活性化させる。②ゲームの展開を推理して作戦を組むことにより、思考能力を増進させる。

- ② ボールとゲートの遠近や方向を交互に見て、インパクトすることにより頭脳と視力の老化を防ぐ。
- ③ 肩と腕の筋肉を使うことにより血行をよくして新陳代謝を盛んにする。
- ④ 構えてからインパクトするまで十秒以内といえども背をやや前方にかかめてボールをどのようインパクトしようかと構えることは、背筋に緊張を与え引きしめる。
- ⑤ 総べての動作は、腰を中心となり適度な運動で柔軟な肉体が養える。
- ⑥ 手指腕には微妙な力がかかへんが要求される。繰り返しの練習する中に、次第に末梢神経に作用し神経痛などの予防回復になる。
- ⑦ 楽しい気分で行ったボールを追って歩いたり、小走りしたりする。歩くことは偏平足を直し、足の裏のツボを刺激して内臓の働きを活発にする。

追って昨年来由良老友会もゲートボールの奨励に努め昨年末開催された才一回宮津市長杯争奪ゲートボール大会に優勝の栄誉を獲得し、その後京都府民ゲートボール大会に宮津市代表として出場したを残念にも敗れた。

本年になり、先般才二回市長杯争奪ゲートボール大会が催されたので、1/2期して戦いましたが、ソーン戦では優勝したが、トーナメントでは惜敗して1/2を逸しました。過去の経験から観て府下各チームの年令を通過すると、平均65才?70才程度が多いようです。由良チームの年令は、75才程度で、この点ハンデーが大きい

今後、由良チームを強化するためには、この点を考慮し若い同好の方が、多数メンバーに加って頂くことを切望して、拙文を欄く。

紹介

「由良駐在さん(宮津警察署由良警察官駐在所)今年三月九日に赴任されてこられた安藤義政氏(三十二才)です。前任地京都山科署より、永住希望をして、赴任された。希特な方です。

由良に来て感じた事は、「由良の人は礼儀正し、人情味豊かな土地柄である事がわかった。又各自治会に公民館の建物もあり、それをよく活用している。更に公民館活動による行事が、住民相互の和に成っている等安藤駐在さんが才一印象を語ってくれました。

安藤駐在さんは、剣道が得意で赴任早々、小学校体育館で少年剣士を鍛えて、少しでも早く土地の人に馴染もうと務めていられます。

私達も駐在さんに協力して、犯罪の無い由良を守り続けて行きたいと思えます。

由良公民館

◎、寄附

金三千元 由良岳登山費 安藤 義政氏

☆駐在所からのお願い

犯罪、事故をなくするために

由良駐在所 TEL六〇二四

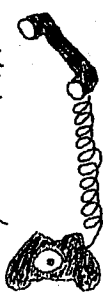
急用(一一〇番)

●ご家庭を訪問します

▽駐在所の安藤があなたのご家庭を訪問します。

- 近くを变な人がうろついていた。
 - 变な男に後まつけられた。
 - 暴力団のような男が出入りする。
 - 覚せい剤の中毒者が。
 - ミンナー遊びの少年が。
 - ごみや建築廃材が捨てられる。
 - 騒がしい音で迷惑している。
- ……など困り事や相談事、警察への要望をお聞かせ下さい。

ハイ駐在所です



最近、浜野路のS方に变なH電話が、再三かかってきたり、深夜に変な男が窓越しに部屋の中をのぞきこむ等の事件が発生しております。警察でも、これに対し綿密なパトロールを実施し、犯人の検挙に努めておりますので

変な男

がうろついております、一一〇番方で協力をお願いします。

▽子供は、水遊びが大好き、その反面水のこけさを知りません。子供を水の事故から守るために、危険な所で遊ぶ子に声かけを、くれぐれもご用心下さい。

交通標語

「思いやりで高めよう！丹後の交通マナー」

以上

図書室あんない

公民館の図書室は、由良の里センター内の出張所の隣室で、静かに読書出来る部屋で、趣味の本、実用の本、小説、随筆等ベストセラーを九六〇余冊あり、皆様の御利用をお待ちしています。

